

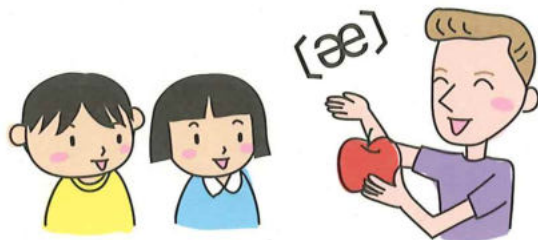
# 人権学習展開例（第1学年）

主題名

いろいろな国のことを知ろう

教材名

せかいの がっこう  
(出典：「世界の子どもたちはいま」学習研究社)



人権学習の視点

個別的な視点「外国人の人権問題」

主題・教材について

気持ちの通じ合う人と一緒にいることは、楽しく、心が落ち着くものである。しかし、すべての人と気が合うわけではない。人と人が理解し合うためにはどのようにすればいいのか、体験を通して、「共通点を見つめる」「違いを認め合う」ことの大切さに気付かせたい。

ねらい

世界の学校のいろいろな様子に気付いたり、ALTの国のことを知ったりする中で、さまざまな国の文化への興味をもち、理解を深めさせる。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○英語による挨拶をする。 ○本時の学習課題を知る。	○ALTによる学習であることを伝え、意欲を高める。	
	<b>いろいろな国のことを知ろう</b>				
展開					
	<b>「せかいの がっこう」の写真から、気付いたことを発表しよう</b>				
	○「せかいの がっこう」の写真からいろいろな学校の様子があることに気付かせる。	一斉	○「せかいの がっこう」の写真から気付いたことを発表する。	○教師用資料を参考に、児童の発表を補足する。	資料 「せかいの がっこう」
	<b>ALTの国（ ）のことを知ろう</b>				
	○ALTの国について理解させる。 ・生まれた国 ・住んでいた所 ・学校のこと 等	一斉	○ALTの紹介を聞き、どんな国であるかを想像する。 ○ALTが生まれた国の位置を予想する。	○ALTの出身国について位置が予想できるようにヒントを用意する。 ○日本と似たところ、違うところに気付かせる。	世界地図
	<b>いろんな国の 遊びをしよう</b>				
	○ALTから、外国の遊びを紹介する。	一斉	○外国の遊びを楽しむ。 <例> じゃんけんゲーム 言葉遊びゲーム だるまさんがころんだ等	○遊びを通して、外国を身近に感じ、人と人のつながりの楽しさを体感させる。 ○外国の遊びの中にも、日本と似た遊びがあることに気付かせる。	資料 「せかいの じゃんけん」
まとめ	○学習のまとめをする。	一斉	○感想を発表する。	○さまざまな国への興味や関心を広げていく気持ちを大切にさせる。	

評価

ALTと一緒に英語に親しみ、ALTの国の遊びを体験することによって、さまざまな国の文化への興味をもち、理解を深めることができたか。